

科目名	あそび実践演習（こどもと運動）		担当教員	田 中 葵		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜資料を配布する。	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	後期
<b>講義概要</b> <b>■到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの身体表現活動の意義と展開について理解し、説明することができる。</li> <li>イメージに合わせてその特徴をとらえ、動きを変化させて全身で表現することができる。</li> <li>動きの表現が広がる展開の方法や声のかけ方について考察し、実施することができる。</li> </ul> <b>■授業の概要</b> <p>生活体験で得たイメージを多様な動きで表現するあそびは、こどもたちの想像力と身体の動きを育みます。そのため本授業では、イメージに合わせたり、何かになりきったりしながら、空間・時間・体の動きに変化をくわえ、動きの表現を深めていきます。また、毎授業、ペアやグループで模倣しながら、互いの動きから学び合います。最終的には、グループごとに設定したテーマの展開を実践し、全体で共有しながら、こどもの表現活動のあり方について検討していきます。</p> <b>■授業計画</b> <p>第1回 オリエンテーション 幼児期における運動・身体表現  第2回 動きとイメージ：歩く、走る、跳ぶ、転がる、回る  第3回 時間への意識：走る—止まる、伸びる—縮む  第4回 空間への意識：空間に絵を描こう  第5回 新聞紙を使った表現  第6回 ハンカチを使った表現  第7回 イメージから動きの表現へ（1）：動物カルタ  第8回 イメージから動きの表現へ（2）忍者屋敷  第9回 イメージから動きの表現へ（3）宇宙旅行  第10回 イメージから動きの表現へ（4）：海底探検  第11回 発表に向けた準備  第12回 オリジナルの話から グループ1による実践及び検討  第13回 オリジナルの話から グループ2による実践及び検討  第14回 オリジナルの話から グループ3による実践及び検討  第15回 まとめ</p> <b>■準備学習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業で行われる技能や課題について自己練習をすること。</li> <li>毎授業後にはレポートを提出すること。</li> </ul> <b>■評価方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み（実技への積極的な取り組み） — 50%</li> <li>実技の成果 — 40%</li> <li>授業毎のレポート — 10%</li> </ul>						
参考文献	西洋子他（2003）「子ども・からだ・表現—豊かな保育内容のための理論と演習」市村出版等、随時紹介する。	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かしやすい服装と上履きで参加すること。</li> <li>【課題等のフィードバック方法】</li> <li>授業毎のレポートにはコメント等を書き加えて返却する。</li> <li>発表の際には口頭でコメントをする。</li> </ul>			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択	幼	教科に関する科目			
		保	保育の表現技術			